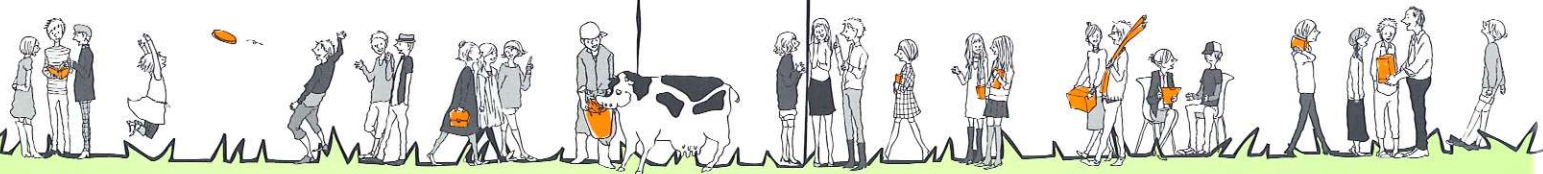
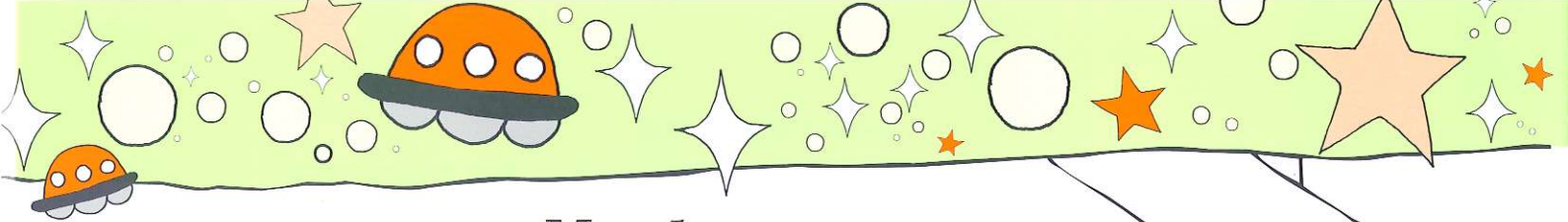


平成19年度文部科学省
新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム(学生支援GP)採択
学生支援メッシュプロジェクト



こんにちは。学生支援メッシュプロジェクト「メキュット」です。
名古屋大学では、学生が学生を支える仕組みとして
「ピアサポート」「就活サポーター」の活動が展開されてきました。
これらに加え、学生どうし、学生と教職員が専攻や部局の枠を超えて
ゆるやかに集うグループ活動を推進するプロジェクトが始動しました。



動きだしたプロジェクト *Mes huttes* メユット

ひろげようメユットの「わ」。

仲間どうしの「和」。

つながりの「輪」。

発見の「わ！」。

どんな活動？

入学前を思い出してみてください。

大学にどんなイメージを持っていましたか？

たくさんの学問領域があって、知的・文化的な刺激に満ちた場、
いろいろな人がいるところ、好きなことをとことん極められる研究室…
そして、今のあなたは大学をどのようなところだと感じていますか？

大学でできることを、もう一步広げてみたいになったら、
ぜひ活動に参加してみてください。

大学にはいろんな「資源」が転がっています。

ここ名古屋大学ならではの資源を生かした知的・文化的な活動を、
垣根のないゆるやかなグループで体験します。

一緒にメユットの網を編んでいきましょう。

日程や場所は企画ごとに異なります。
詳細は随時ホームページや学内の広報などでお知らせします。

どんな人が参加できるの？

名古屋大学の学生は誰でも参加できます。教職員も参加できます。
1回だけの参加、複数企画への参加もOK。

また、「この企画をまたやりたい」というリクエストや
「こんな資源がある。新企画をやってみたい」等の
立案・運営サポートも歓迎します。

「なんか気になる」「やってみたい」「聞いてみたい」等、
疑問や参加希望などは
学生支援GP推進室にメール・電話でご連絡ください。

メユット用語解説

メユット: Mes huttes

フランス語の「私の仮住まい」という意味のこと
ばと、英語の「メッシュ」から創られた、このプロ
ジェクトの愛称。

オーガナイザー:

メユット専属のスタッフ。それぞれの専門領域
を活かして、いろいろな知的・文化的活動を企
画・運営していく。

ファシリテーター:

それぞれのグループにおいて、専門や趣味を
活かして活動を促進させていく名大の教職員。

ピアサポート:

学生による学生のための相談活動。平成16
年より、学生の手による気軽な相談窓口として
スタート。「ピア」は英語で「仲間」という意味。
学生生活に関わる勉強・友人関係・進路など
の相談について、サポーターと一緒に考え、
整理していく。

就職サポーター:

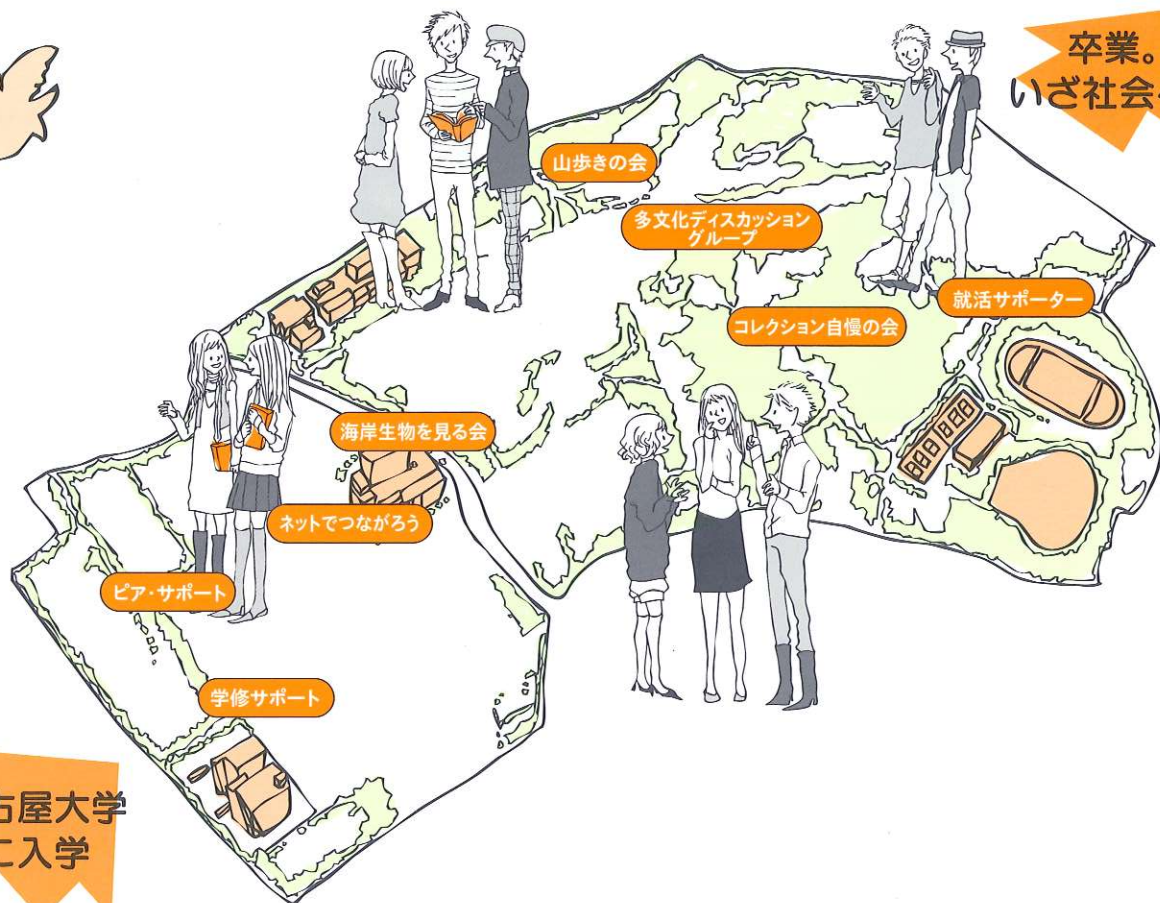
就職活動を終え進路が決定した学生(サポー
ター)がこれから就職活動を行うまたは活動中
の学生(プレーヤー)に対し、自身の経験や就
職活動に関する情報を伝えていくことを通じて、
プレーヤーの役に立ち、彼らを応援していくこ
とを目的とする活動。毎年50名前後の学生が
ボランティアで活動する。

グループ活動:

「海岸生物を見る会」は博物館の教員が同行、
「山歩きの会」は総合保健体育科学センター
の教員が同行する等、大学にいる専門家と授
業以外の場で身近に交流できる。また「コレク
ション自慢の会」のように、学生・教職員が一
コレクターとして参加し、
集めずにはいられないモノとそんな自
分について遠慮す
ることなく話せる会
もある。



学生支援メッシュプロジェクト・メキュト
多様な支援を全学的に展開



名古屋大学
に入学

今までの取り組み

- 「海岸生物を見る会」(博物館連携企画)
- 「山歩きの会」(総合保健体育科学センター連携企画)
- 「コレクション自慢の会」(学生相談総合センター自主企画)

これからの取り組み

- 「フラワーアレンジメントの会」
- 「キャンパスバードウォッチングの会」
- 「キャンパスフォトの会」
- 「多文化ディスカッショングループ」

※メキュトは、新しい取り組みとして、インターネット参加型グループ(SNS)の立ち上げを予定しています。



活動紹介

たとえばこんな取り組み。

自慢の趣味やコレクションを語ろう！ コレクション自慢の会

どんな活動？

鉄道の写真を集めたり、映画のチラシをコレクションしたり…。コレクション自慢の会は、ご自慢のコレクションや趣味について思う存分、語り合う会です。語り合うことを通して、相互の交流を深めることを目的としています。ぜひ、参加してコレクションや趣味の輪を広げましょう。



参加者の声



コレクション
というとても
格調高いもので、



ほとんどの人が「自分にはとても人に自慢できるようなものがない」と思っていました。しかし地味なコレクションにもキラリと光る素敵なものがあつたりして…。コレクション自慢の会では、いろいろなコレクションがズラリと並びます。凄いコレクションもあれば、中には笑っちゃうものもありますが、「パンチの穴を集めている」というコレクションは、一番印象に残りました。

コレクターに焦点をあてた企画におもしろさを感じて参加しました。私が話を聞いたのは、古書コレクターと映画無料チラシコレクターです。人が自分の趣味について熱く語る姿を見るのは、とても新鮮！コレクションの何がこの人をそれほど熱くさせるのか、自分なりに理解しようと、いろいろと考えを巡らせて楽しみました。「コレクション自慢の会」は、自分にはない考え方や視点に触れる格好の場です。いろんな世界を覗き見してみてください。

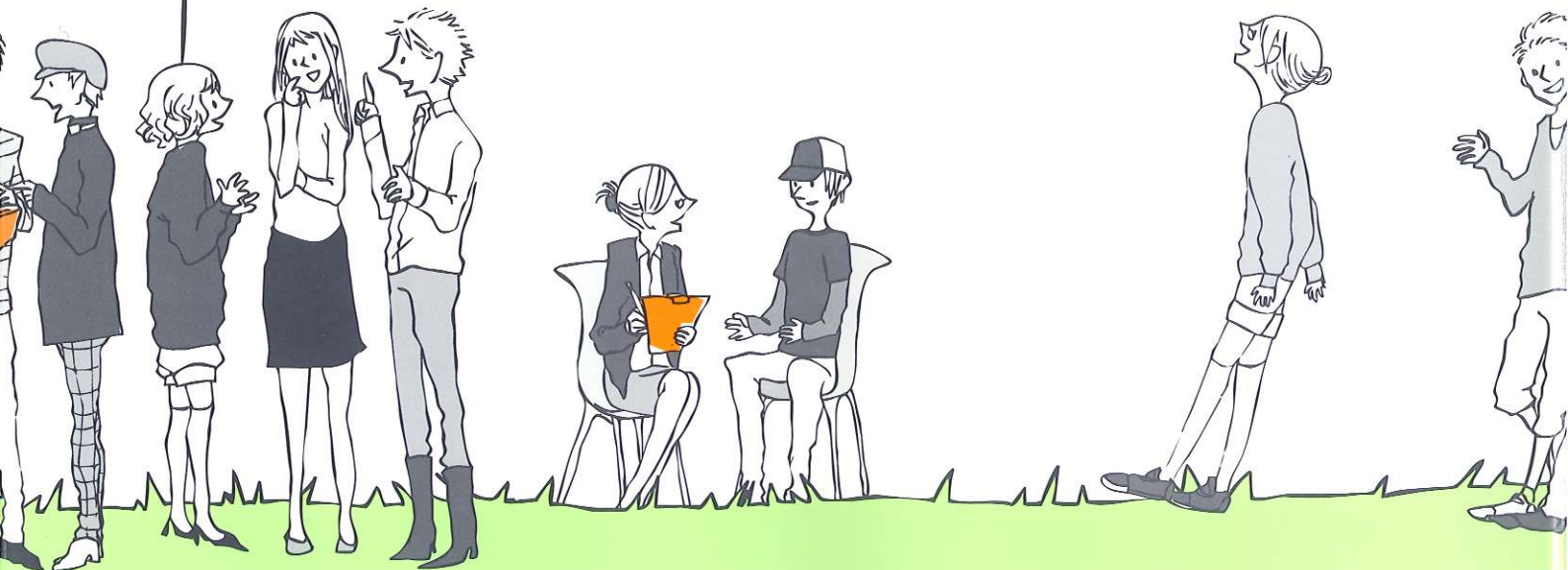


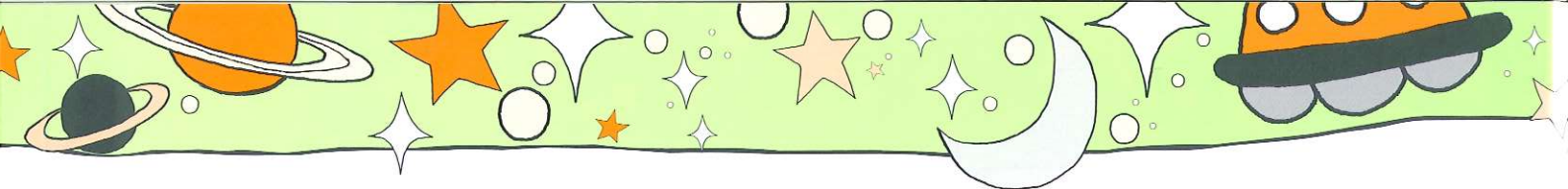
いつもワクワクしながら発表者のコレクション話を楽しんでいますが、思い立って発表に挑戦してみました。友人も知らない趣味について熱弁を振るい、授業や演習の発表とは違う緊張感とともに、楽しさを味わいました。自分のコレクションを他の人に見せる機会はあまりないもの。お互いのコレクションや趣味について語り合える「コレクション自慢の会」は、趣味を共有する場にぴったりです。好きなことを通じて学友との交流も深まります。収集癖のある人、マニアックな世界をのぞいてみたい人、ぜひ参加してみてください。



「コレクシ

ン自慢」への参加は、他大学から大学院に進学してきた私にとって、研究室以外で友人を作るいい機会になりました。こうした交友関係の広がりとともに、新しい趣味の世界も広がりました。毎回驚かされるのは、発表者の表情です。どの人も、自分の好きなことについて話すとき、目が輝くんですよ。





ピア・サポート

どんな活動？



大学生活は、高校までの学生生活とは大きく異なります。爛漫の桜に囲まれて晴れて入学はしたものの、新しい生活に戸惑いを感じている新入生もきっといることでしょう。そのような場面で手を差し伸べるのがピア・サポートです。名古屋大学で学ぶ先輩たちが、充実した大学生活が過ごせるようにサポートします。ぜひ、ご利用ください。

スタッフVOICE



教育学部 4年
野村あすか

「勉強の仕方がよく分からない」「学部の友達とうまく馴染めない」「サークルに入ろうか迷っている」「進路がなかなか見えてこない」…。大学生活の中で困っていること、悩んでいることはありませんか。そんなときにはぜひ、名大ピア・サポートに足を運んでみてください。「ピア(peer)」は「仲間」を意味する英語。ピア・サポートはまさに、名大生による名大生のための相談機関です。どんな小さなことでも構いません。一緒にお話しながら考えてみませんか。同じ名大生だからこそ共有できる気持ちがきっとあるはずですよ！

就活サポーター

どんな活動？



就活サポーターは、学生が学生を支える活動のひとつです。進路が決定した4年次および修士2年が自らの就職活動経験を語ることを中心に、これから就職活動に入る、または活動期にある後輩たちを支援します。先輩たちの親身のアドバイスは進路を考えるうえできっと役立ちます。将来の目標を実現するためにも、ぜひ、活用してください。

スタッフVOICE



2007年度農学部卒業
大江真理子

お世話になった先輩の紹介で、就活サポーターの活動に参加しました。10月下旬～2月中旬まで、毎週月曜日から金曜日の午後1時から5時の間、就職支援室にて就職活動生の相談にのりました。相談延べ人数は77人。多くの時間を同じ就活サポーター、そして就職活動生たちと共有しましたが、大学4年間でこれほど多くの仲間ができるとは思いませんでした。この活動を通して、積極的に自分から関わっていくだけで、驚くほど楽しくなることがわかりました。ほんとうに大きな発見です。

就活サポーターとは、就職活動生と4年生・修士2年生が互いに成長できる、まさにシナジーの塊ですよ！！



今までの主な活動を紹介します。

海岸生物を見る会

キャンパスから少し足を伸ばして、海辺にみんなで出かけていきます。海岸の身近な生き物について触れ合ったり、大学内の博物館の施設で観察をしたり。知的関心を深めるだけでなく、会に集うみなさんの交流を深めることも目的としています。

山歩きの会

里山の自然散策や、初歩的な山歩きを楽しみながら、自然に対する理解を深めます。四季の自然を仲間と一緒に感じることができる活動です。

コレクション自慢の会

コレクション自慢の会では、毎回、参加者が自慢の趣味やコレクションについて語ります。教職員から、恐竜グッズや古書などユニークなコレクションが発表されたことも。教職員の隠された素顔を発見できることもこの会の特長です。

今後はこんな活動も展開していく予定です。

フラワーアレンジメントの会

春夏秋冬、季節によって名大のキャンパスはいろいろな姿を見せてくれます。季節の花に触れながら、キャンパスの四季を感じてみませんか？

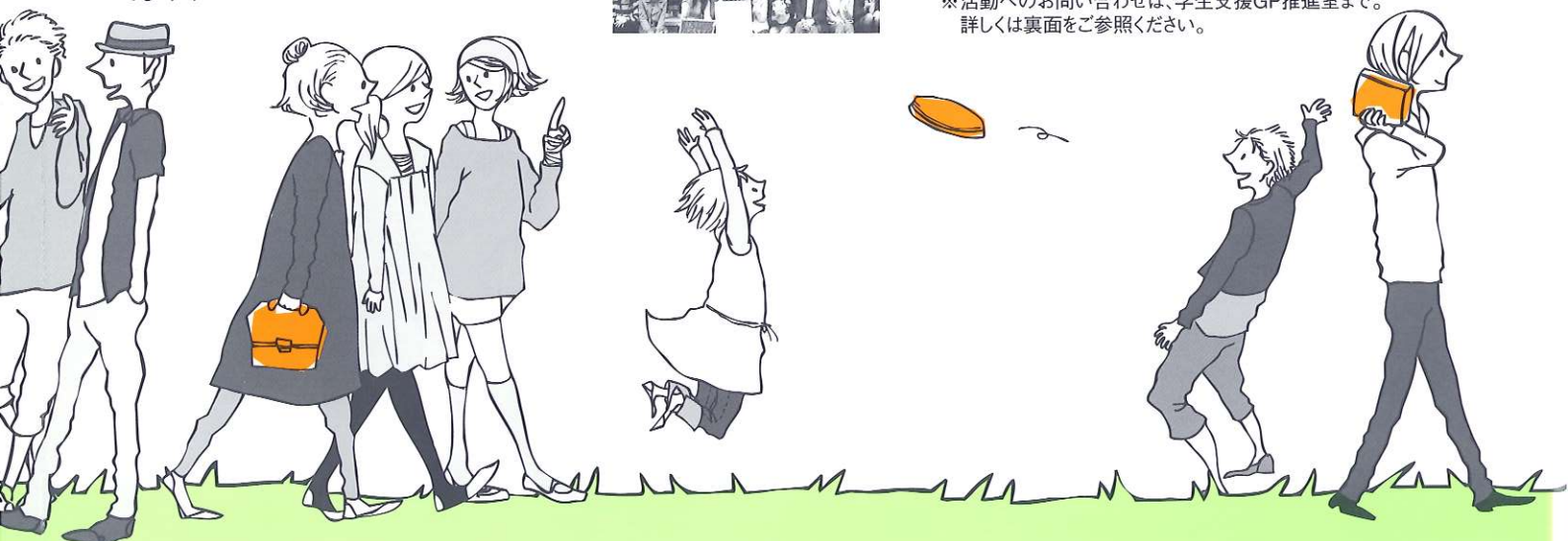
キャンパスバードウォッチングの会

名古屋大学のキャンパスには自然がたくさんあります。少し注意して見ると、木々の間にかわいらしい鳥たちの姿を見つけることができます。キャンパスの中の小さな仲間たちと出会ってみましょう。

キャンパスフォトの会

ファインダーを通して見てみると、ふだん過ごしているキャンパスが、一枚のアートとして感じられるかもしれません。仲間と一緒に、名古屋大学の新しい一面を発見してみるのもいいかもしれませんね。

※活動へのお問い合わせは、学生支援GP推進室まで。詳しくは裏面をご参照ください。

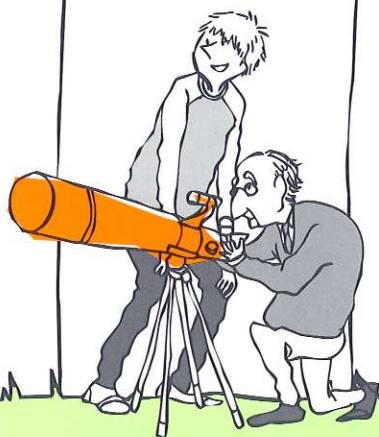


MESSAGE



名古屋大学理事
・副総長
杉山寛行

近年の多様な学生のニーズや社会的ニーズに corres えるために、大学においては教育・研究に加えて学生支援の充実が求められています。名古屋大学では、学生生活に対する援助・助言・指導の体制の充実を図るために、2001年に全学共通基盤としての学生相談総合センターを設立して学生の悩みに対応してきました。この度、学生支援GPに採択されたことを契機として、専門家による学生支援のみならず、部局が連携して大学全体の支援力を高めることが期待されます。多様な学生が輝くことのできる名古屋大学を目指したこの取組に、どうかご協力をお願い申し上げます。



学生支援GPオーガナイザー
特任助教
加藤大樹

グループの雰囲気作り出す「和」。参加者どうしの交流の「輪」。そして、活動を通して得られる発見の「わ!」。これから、みなさんと一緒にメユットの「わ」を少しずつ広げていくことができればと思っています。

「メユット」は、まだ生まれたばかりのプロジェクトです。1つ1つの活動を大切にしていきながら、それらを繋いでいくことにより、みなさんと一緒に、大学全体を包む大きな心地よいメユットの網を編んでいきたいと思っています。



学生支援GPオーガナイザー
研究員
田中伸明

はじめまして。私は学生支援GPオーガナイザーとして、Mes huttes (メユット) のさまざまなグループ活動の企画・運営を行っています。Mes huttes (メユット) のグループ活動は、名古屋大学と皆さんとの間に新しい「つながり」を生み出す場になっています。それだけではなく、そこに集う学生の皆さんにとって、これまでと違った新しい価値観に出会う場になればとも願っています。是非、一度Mes huttes (メユット) のグループ活動に参加してみてください!



学生支援GPオーガナイザー
研究員
桂田祐介

こんにちは。2008年度より新たにメユットのメンバーに仲間入りしました桂田です。専門は地球科学関連の分野で、センターでは最も異色の存在だと思います。昨年度までは博物館で、おもに一般向けのフィールドセミナーなどの活動の開発と実施に携わってきました。多様な学問領域を網羅し、学内のみならず社会に開かれた窓口でもある博物館での経験を活かして、皆さんの学生生活を実りあるものにするお手伝いができればなあと考えています。

名古屋大学
学生支援メッシュプロジェクト

Mes huttes

メユット

名古屋大学学生相談総合センター 学生支援GP推進室

TEL 052-747-6456(担当:加藤・田中・桂田)

URL <http://www.htc.nagoya-u.ac.jp/gakuso/meshuttes/>

E-mail gakuso@htc.nagoya-u.ac.jp